田舎暮らしや田舎での起業など
学びの交流人口創出で、地域の誇りも再生

【田舎暮らしや田舎での起業など学びの交流人口創出で、地域の誇りも再生】

【講師】特定非営利活動法人　土佐山アカデミー

事務局長　吉冨慎作（よしとみしんさく）　氏（高知市）

開催結果

◆日時　平成３０年１月２５日(木)　１３：３０～１６：３０（開場 13 時～）

◆場所　（一財）都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流きこう）　会議室

◆主催　（一財）都市農山漁村交流活性化機構

◆概要

第１４回オーライ！ニッポン大賞を受賞した特定非営利活動法人　土佐山アカデミー事務局長　吉冨慎作　氏をお招きし【田舎暮らしや田舎での起業など学びの交流人口創出で、地域の誇りも再生】

と題して開催しました。

高知市の源流域である中山間地を舞台に「人が自然の一部として生きる文化を育む」というミッションの実現に向けて「学びの場づくり事業」「つながりづくり事業」「文化・社会づくり事業」 を展開する土佐山アカデミーの活動を伺いました。

第８回セミナー事務局のまとめ

土佐山アカデミーが力を注いでいるのは、過疎高齢化が進む中山間地域資源を活用し、地域の人々の暮らしに根差した技を学びながら、農山漁村での田舎暮らしや新たなビジネスを起こそうとする若者や都会人を対象としたプログラム開発です。このプログラムは、地元の人と馴染みながら夢を叶えることをスクール形式で学ぶもので、都会からの移住者増加に大きな成果を上げています。

また、都会人や若者が自然や農山漁村に求める魅力と地域の人々が課題に思っていることを上手くつなげる役割もこのプログラムが果たしています。土佐山アカデミーは、支援する側もされる側も、これからは田舎での起業する力が問われていると言います。具体的には、中山間地の資源を活かしたナリワイ・スモールビジネスを作り出すことです。

吉冨事務局長は、山口県出身、福岡の外資系広告代理店に勤務し、坂本龍馬に憧れ、何度か土佐に通ううち縁があって家族とともに移住しました。

中山間地の資源を活かしたナリワイ・スモールビジネスを展開するには、それを行う人が楽しんでいかねば成功しない、さらに、それを利用する人のニーズを考えることも大事です。そして、農山漁村地域の課題そのものが資源となり得る可能性があるため、「課題を見つける人」×「アイデアを考える人」×「実際に活動する人（プレイヤー）」が連携することができれば活性化すると言います。

アイデアを生み出すのが得意の人が、多忙などにより必ずしも実践できるわけでもありません。こうした３つの分野の人を結び付けるコーディネイトする人を育て、関係者を結び付ける場を「学びの場」として展開するということです。

特に注目したいのは、地域の課題を教材にしているということです。

土佐山地区は、高知市の中心部から車で 30 分。明治の初めには約 4,000 人いた人口も現在は、1,0000 人足らずに。新たな人材を引き入れるために、年間を通して短期・長期ワークショップや研修を実施して、延べ約１万人が受講しています。ワークショップという学びの場を経験した人のなかから、土佐山を気に入り新たなアイデアで生活の場として移住する人が出てくるため、出来るだけ多くの学びの場の機会創出が重要なのです。

3 ヶ月滞在型プログラムで住居も仕事も生み出していく「土佐山ワークスティ」は土佐山の仕事（ワーク）を学びながら土佐山ステイ（滞在）するプログラムです。

ステイする空き家再生も、プログラム（ワークショップ）の教材にもなっています。家も無い、車も無い、コネの無い参加者に対して、それらを提供しこのワークショップを無事に終えて移住した人は、民泊とスカイイプで英語教室を運営したり、別の日とは、行政書士の傍ら野菜作りしたりと、複合的なシゴトをしながら土佐山で新たなライフスタイルを実践しています。

吉冨事務局長をはじめアカデミーの優秀な職員の皆さんは、山村の資源を見直し、新たな発想とアイデアで若い人たちに働きかける力を源泉に、土佐の山村から新たな日本を作り出そうと次々とアイデアを実践中です。目指すは 21 世紀の坂本龍馬。

講師の吉富さん、参加いただいた皆さんありがとうございました。

confidential

■土佐山アカデミーの2017 事業構成

循環型の生活を
地域の人から学ぶ
TOSAYAMA
ACADEMY 2017
地域で学ぶ

空き家改修と
中長期滞在支援
土佐山
ワークステイ
地域で暮らす

中山間地域特化型
起業家育成プログラム
EDGECAMP
地域で創る

人材研修・組織開発
プログラム
TOSAYAMA
CREATIVE CAMP
地域で育てる

企業や他市町村の
コンサルティング
コンサルティング
サービス
地域のコラボ

confidential

TOSAYAMA
ACADEMY

TOSAYAMA
ACADEMY
OSOTO

OSOTO
TOSAYAMA
ACADEMY